

老鶯の語尾のきらきら細波す

山田真砂年

(「稲」七月号)

山近くの土地であろうか。老鶯は「夏の鶯」のことである。鶯は春の代表のような鳥なので、夏には老鶯などと呼ばれるが、その鳴き声は春よりもしつかりしていて美しい。あちこちから聞こえる鳴き声の素晴らしさを、作者は「語尾のきらきら」と象徴的に捉え、「細波す」と受けた。心に響いてくるものがあつたようである。